

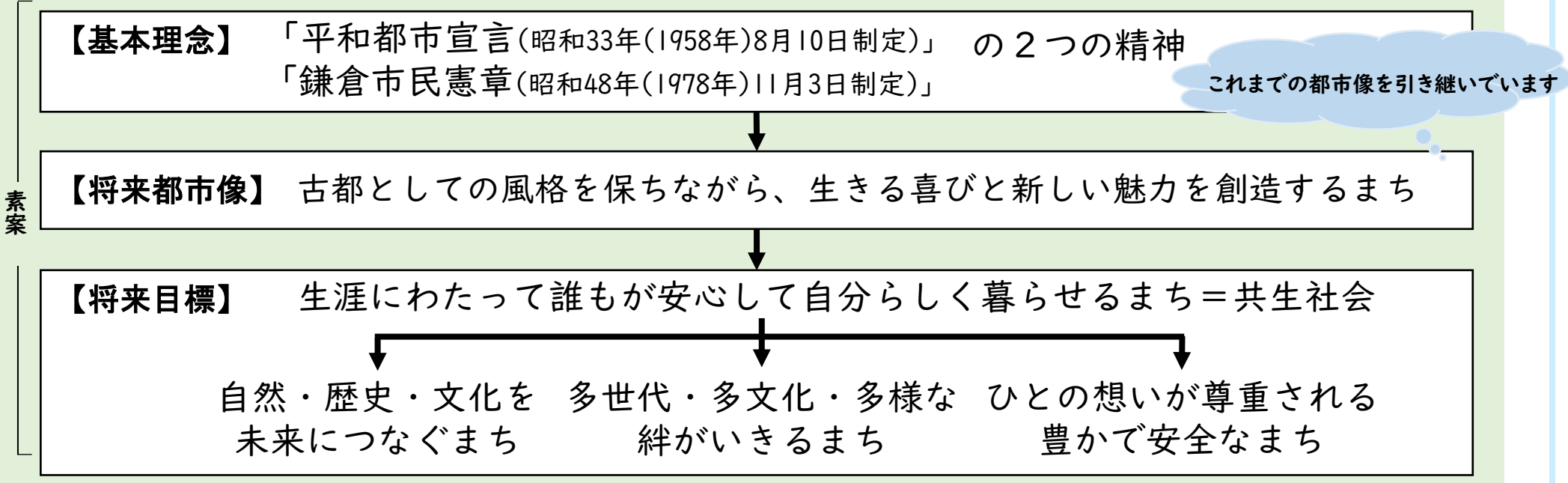
鎌倉市総合計画-鎌倉ビジョン2034／鎌倉ミライ共創プラン2030-の素案の概要

総合計画は、基本構想・基本計画・実施計画の3層構造になっています。これまで市民参画などでいただいたご意見を踏まえ、現在新たな総合計画の基本構想と基本計画の素案を作成しています。

基本構想「鎌倉ビジョン2034」

計画書 P4～

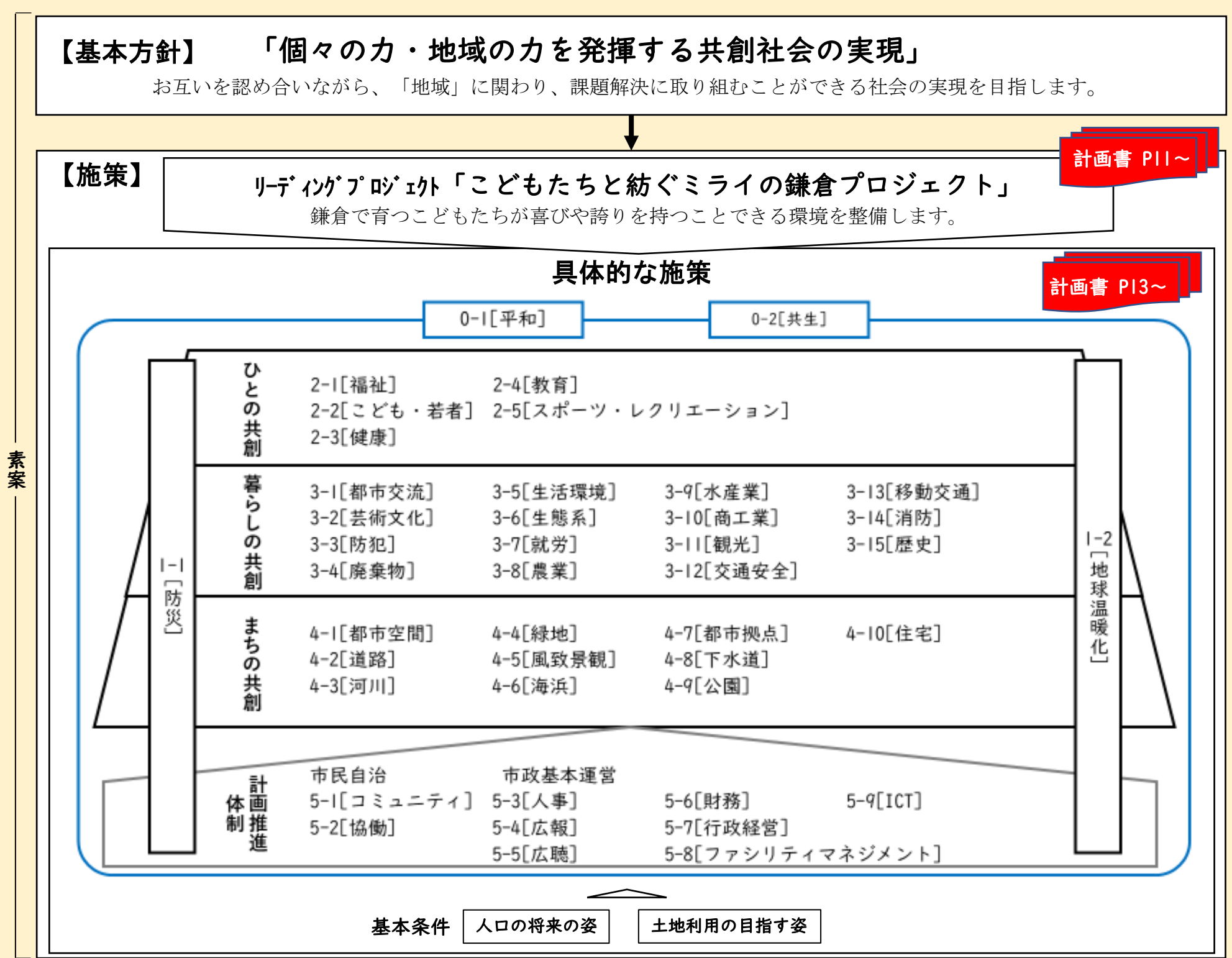
※基本構想とは…まちづくりの基本理念と将来都市像、そしてその実現に向けた将来目標とその方向性を示すもの



基本計画「鎌倉ミライ共創プラン2030」

計画書 P6～

※基本計画とは…基本構想を実現するための政策や施策の体系・方針を示すもの



※リーディングプロジェクト
… 具体的な施策を効率的・効果的に実施するに当たり、計画全体をリードし、計画期間中、先導的・戦略的に取り組むもの

!鎌倉市総合計画素案のポイント!

本市の総合計画は・・・

総合計画の策定は30年ぶりです！

総合計画は、市の将来都市像と施策の基本的な考え方を定めたものです。

鎌倉市の総合計画は、昭和55年（1980）度～昭和60年（1985）度を計画期間とした第1次総合計画、昭和61年（1986）度～平成7年（1995）度を計画期間とした第2次総合計画、そして、平成8年（1996）度～令和7年（2025）度を計画期間とした第3次総合計画と変遷してきました。

そして現在、令和8年（2026）度からスタートする新たな総合計画の策定に取り組んでいます。

総合計画の変遷

昭和55～60年度	昭和61～平成7年度	平成8～令和7年度	8	9	10	11	12	...
(計画期間:6年間) 第1次総合計画	(計画期間:10年間) 第2次総合計画	(計画期間:30年間) 第3次総合計画	令和8年度～ 新たな総合計画					
			令和7年度で終わります					

新たな総合計は
9年間を
予定しています。

新たな総合計画で大切にしているものは？

鎌倉は、世界に誇る貴重な歴史的・文化的遺産と、海や緑豊かな丘陵の自然景観に恵まれています。これらの資産を今後も守り育て、後世に引き継いでいかなければなりません。そして、その資産の下、鎌倉に関わる全ての人が生涯にわたってお互いを思い、自分らしく、安心して、鎌倉に「住みたい・住み続けたい・訪れたい・関わりたい」と思うまちにしていかなければなりません。

そのような中で、新たな総合計画は、市民の皆さんとともに行うまちづくりを目指しています。そのため、計画策定の過程から、市民の皆さんとともに取り組んでいます。

みんなでつくる
みんなのための
計画です！

これまで市民の意見は集めたの？

新たな総合計画は「市民の皆さんとともに進むまちづくり」を目指しているため、皆さんの「鎌倉への想い」を伺う機会として、オンライン意見聴取、市民ワークショップなどを開催しました。

市民ワークショップ「わたしたちが描くみらいの鎌倉」

オンライン意見聴取も同時時期に実施

昨年(2024年)5月～7月(全3回)に、鎌倉・大船会場の2カ所で実施しました。

- ◆ 第1回目…「“知る”『鎌倉への想いを聞く』」として、総合計画や鎌倉市民憲章、平和都市宣言とは何かということを理解してもらいながら、皆さんの鎌倉への想いを伺いました。
- ◆ 第2回目…「“考える”『理想の鎌倉を想い描く』」として、理想の鎌倉を想い描いてもらいました。
- ◆ 第3回目…「“創る”『具体的にイメージする』」として、第2回目に想い描いた「理想の鎌倉」を実現させるためには何が必要かを具体的にイメージしてもらいました

このうち、第2回目に寄せられた意見を、将来目標を作成する要素としました。



鎌倉こどもみらいミーティング

次世代を担う子どもたちが「夢や希望を持って自分らしく育っていける環境」を整えていきたいと考え、子どもたちの意見やアイデアを聞くための鎌倉こどもミライミーティングを実施しました。

当日は、鎌倉の「自慢したいところ」「好きなところ」などを聞きながら、「10年後の鎌倉のまちをどんなまちにしたい？」をテーマにグループワークを行い、結果をイラストなどを使ってまとめました。



より詳しい説明や動画での説明は、市ホームページ「新たな総合計画について」のページでご覧いただけます。

